

あらゆるものが接続される IoT 時代の中核技術として、通信技術は様々なサービスの基盤であり、更なる飛躍・発展が期待されています。Beyond 5G/6G など将来のデジタル社会を支える基盤の実現には、これまで培ってきた通信技術の更なる発展に加え、AI、ビッグデータといったデジタル技術の活用など分野横断的な取り組みが不可欠です。今後、多くの社会課題を解決する技術の実現には、従来の枠組みに囚われずに新たなアイデアを創出し、革新的な技術に挑戦して将来の技術発展に寄与する若手研究者・技術者を育てることが重要です。和文論文誌 B では、そのような研究者や技術者に活躍の場を提供し、学位取得やステップアップを目指す学生・若手研究者の論文執筆の契機とするために、学生・若手論文特集を企画しており、これまでに多くの投稿を頂き、数々の優れた論文が掲載されています。

本特集の対象分野は和文論文誌 B が扱う通信技術全分野です。対象論文は筆頭著者が学生（社会人学生含む）もしくは筆頭著者が学生のときに行った研究成果、または筆頭著者が博士学位未取得もしくは博士学位取得から概ね 10 年以内の若手研究者が行った研究成果に限ります。研究開発活動を円滑に継続できるよう年度内の発行（2024 年 3 月号）とします。和文論文誌の特集では、最新の研究成果を国内の幅広い読者層にわかりやすく、かつ迅速に情報発信できますので、学生の皆様、あるいは優れた研究成果があるにも関わらず論文投稿経験が無いまたは少ない若手研究者の方々からの積極的な御投稿をお待ちしております。また、本特集に掲載される優れた論文に対して表彰を行う予定です。

1. 対象分野：（和文誌 B が対象とする全技術分野）

【技術領域：基盤】

基礎理論、電子通信エネルギー、伝送方式・機器

【技術領域：光】

光ファイバ、光ファイバ伝送

【技術領域：ネットワーク】

ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、
ネットワーク管理・オペレーション

【技術領域：無線】

アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、無線通信技術、
地上無線通信、放送技術、衛星通信

【技術領域：無線システム】

計測、探査、航行・誘導・制御方式、宇宙利用システム

【技術領域：マルチメディアシステム】

マルチメディアシステム

2. 対象論文

筆頭著者について以下（1）または（2）いずれかの条件を満たす論文に限り、受付対象とします。

（1）筆頭著者が大学に籍をおく学生（大学院生・社会人学生を含む）である論文。ただし、投稿時点で既に大学等を卒業もしくは修了していたとしても筆頭著者が学生（大学院生・社会人学生を含む）のときに行った研究成果に関する論文であれば受付対象とします。

（2）筆頭著者が博士学位未取得または博士学位取得から概ね 10 年以内の若手研究者である論文。

3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆、査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

原則として、論文は刷り上がり 8 ページ、レターは同 2 ページを標準とします。

著者全員が非会員でも投稿が可能になりました。

但し、非会員掲載料が適用されます。

4. 主なスケジュール

投稿締切：2023 年 5 月 21 日（日） 厳守

第 1 回判定通知：2023 年 7 月下旬を予定

最終判定通知：2023 年 10 月下旬を予定

掲載料支払期限：2023 年 11 月 25 日

発行月：2024 年 3 月号

(本特集の論文・レターは、最終判定が採録の場合、上記判定通知時期を待たず確定次第通知する予定です。また、採録決定後、掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。)

5. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿 PDF ファイル (10 MB まで) 並びに編集用電子ファイル (1 ファイルにつき 10 MB まで) をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局 <wabun-b@ieice.org> に御連絡下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 小川猛志 (東京電機大)

幹事 鈴木一哉 (秋田県立大), 大津山卓哉 (電子航法研)

委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

7. 連絡先

大津山卓哉 (電子航法研)

TEL [0422] 41-3173

E-mail : otsuyama@mpat.go.jp